令和7年度 第2回 藤沢市立大鋸小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年7月11日（金）9時30分～11時30分
場 所　藤沢市立大鋸小学校 2階 指導室

出席委員	堀河 俊介（会長・保護者） 近藤 千鶴（副会長・大鋸小学校校長） 高津 直子（大鋸小学校教頭） 田中 舞（保護者） 織部 朋子（大鋸地区社体協） 渋谷 幸江（藤沢東部地区主任児童委員） 平石 美和（村岡地区主任児童委員） 金澤　健二（おはようボランティア） 谷津倉 晋（村岡市民センター長） 芳我 美佳子（コーディネーター・保護者） 以上10名
次第	1 開 会 2 会長挨拶 3 コーディネーター挨拶 4 議 題 （1）　水泳授業における監視について報告 （2）　地域防災に向けて取り組みたいこと （3）　その他 5 その他 校内授業参観 6 閉 会
	意見等 **＊4（1）水泳授業における監視について報告** 【学校より】 ・6月17日～7月10日の14日間、7人の方にご協力をいただいた。 ・教員負担の軽減もあるが、専門の方が見てくださる心強さが大きかった。 ・水泳学習が諸事情で中止になった場合、直前あるいは当日の連絡になってしまうので申し訳ないと思う。皆さんのご理解の上で成り立っている。また、地域とつながる事業としても、今後も皆さんの融通のきく範囲でご協力いただけるとありがたい。 ・顔のつながった地域の大人が学校に入ることで、子どもたちの大きな安心感に繋がった。 【委員より】 ・昨年度より検討した事業が実現できて素晴らしい。ご協力いただいた方々に感謝。

協議内容	**＊4（2）地域防災に向けて取り組みたいこと** ①防災に関する懸念事項 について 【学校より】 ・保護者が児童を引き取る際にかかる時間やそれに伴い待機する児童数等、先日行った保護者アンケート（別項目 2参照）によりおおよその把握ができた。 ・児童が待機となった場合、次のことが懸念される。 〇児童を校舎内で長時間待たせる。 〇電気が止まると冷暖房が使えない。 〇水道やトイレの問題。簡易トイレを購入している学校もある。 〇非常食がない。（現状：児童一人 500ml の水のみ） →アレルギー対応も含め食料が必要ではないか？（PTA と相談） 〇対応する大人（職員）の食料もない。 ・避難所を開設した場合、地域の避難者と待機児童との運用の棲み分けが難しい。例えば、非常用トイレはどうするのか、物資などの共有はどこまで可能なのか、など。 ※参考 <避難所施設運営委員会（藤沢市）より> 現状、防災倉庫の備蓄食料は乾パンのみ。来年度の予算や何を用意する等、決めていくような動き。マンホールトイレは待機児童と共有できるが、汲み取り式となり市内に汲み取り車は3台しかない。マンホールはすぐにいっぱいになることが予想される。 →非常食だけでなく、トイレ対応の物品（ビニール袋や固形化するもの）も 必要か？ （PTA と相談） ・非常時に対応できる職員数を把握するためアンケートの実施を考えている。 ・職員の対応と役割分担については、これから学校側で検討が必要な事項である。 ・近隣の小中学校、幼稚園、保育園との引き渡しはどう連携すべきだろうか。現状、大規模災害発災時は、小中学校は保護者へ引き渡しとなる。中学生が小学生を引き取る事を良しとするか、引き取る順番を決めるか等、基本の約束や共通認識があると良いのではないかと思う。来月の藤ヶ岡中学校とのコミスク会議（共同開催）で話をしたい。 【委員より】 ・防災倉庫のものは地域のものか？ →防災倉庫に保管されているものは市民（地域）のもの。学校で必要なものは学校の中で保管することになっている。 ・中学校の備蓄食料は卒業時に配付されるが、いつどの費用で購入したか記憶にない。多分、入学時に経費として引き落としされているのだろう。小中学校で対応が違うようだ。 →実際に中学校と同様の物資を全員分購入した場合、現状ではそれらを保管するスペースがない問題もある。

・電気が止まった場合、ソーラーパネルからの電力はどのくらい賄えるのか？

→災害時は2階指導室が災害本部になり、ソーラーパネルからの電力は災害本部を運営する程度である。

②保護者アンケート（6月26日 14 時に発災と仮定）の結果について説明

【学校より】

・7月10日時点の回答数。（回収率90%）

・曜日や勤務場所によって不明という回答も多く、アンケート結果はあくまでも参考資料。

・引き取る人の多くが保護者であり、30分以内に引き取りに来られる家庭が半分以上。

・引き取りに6時間以上かかるという回答が18名。1時間以上かかるという回答が150名程度。

《保護者からの質問》

・中学生の兄姉が引き取ることは可能か？

・登下校中に発災した場合の対応は？

・小中近隣の合同訓練について、どう考えているか？

・防犯上、名札が必要だが、非常時にない場合はどうするのか？

・AED の場所を教えて欲しい

《保護者からの意見》

・毎年の引き取り訓練の方法や必要性について疑問を感じていたが、このアンケートを行うことに意味があると感じた。

・実際に起きた時を考えて、家族でどうするかを話し合うきっかけになった。

・引き取りに時間がかかっても、学校で安全に留め置いてもらえるなら落ち着いて迎えに行けそう。

・職場の場所から考えると、先に幼稚園へ行き、その後小学校へ向かうことになりそう。

【委員より】

・アンケート未提出の家庭は忙しい？うっかり？未提出のご家庭の様子が気になる。

・今回のアンケートで、公共交通機関が止まってしまった最悪のケースで、引き取りに3時間以上かかる家庭数がわかって、とても良いアンケートだと思う。

・どこに備蓄するかも問題だが、賞味期限切れのものをどう処分するかも問題。

→物によって賞味期限が3年～7年と異なる。子どもたちが食べやすいものは割と賞味期限が短い。管理することを考えると同じ賞味期限のものが扱いやすい。

・防災授業を行い、その時に賞味期限が近いものをみんなで食べるなどしては？

・毎年200セット購入、卒業生（120人くらい）に渡す。毎年80セットくらいが残り、備蓄数は少しずつ増えるが、更新はされていく。処分の仕方はなんとかなるのでは？毎年200セット購入だったら、今の PTA 予算からも購入できるのでは？

→食料も不安があるが、トイレ（衛生面）の不安が大きい。マンホールトイレが実際にあまり使え

ないとするとどうしたら良いのか。

・ダンボールにビニール袋をかけて利用する簡易トイレの購入を PTA で検討するのも一案。

・非常時用の井戸は大鋸小にあるのか？

→井戸の把握ができていないので確認する。プールの水は防災用として利用できる。

・最近は家庭訪問が無くなったが、各家庭の状況を把握し、家庭との信頼関係を結ぶ良い機会だったと思う。家庭訪問で各家庭の環境（川が近くて危険など）を知ることができる。家庭訪問に代わる方法があると良いのでは？

→家庭訪問に代わる方法として、地域家庭確認を実施。対面で会う家庭訪問は無くな ったが、各児童の家の場所や環境は把握できている。

・今回のアンケート結果を踏まえ、どのようなアクションを起こしていくのか知らせることで保護者は安心感を得られる。

→アンケートの結果や質問事項に対しては、お便り等で保護者にお伝えしていく。防災マニュアルは見直しが必要。 実際に地震が起きた時には、負傷者など状況把握が必要なため、発災してすぐに引き渡すことは難しい。発災して引き渡しまで 30 分くらいは待たせることが予想される。避難訓練においても『お迎えお願いします』メールが届いてから、家を出るようにお願いしているが、メールを発信する前に来校される保護者もいる。実際に発災した状況をふまえた避難訓練のあり方を保護者へ発信していく必要がある。

・民生委員では発災した場合、自分や家族の安全、安心が確保できてから担当地区の学校へ炊き出しなどお手伝いに行ってくださいと言われている。

・中学校でも同じようなアンケートをとってみるのはどうだろう？半分以上の家庭数から回答が得られれば、傾向を把握することはできるだろう。来月は共催なので、ただの情報共有だけでなく、先に情報を共有し一歩進んだ話し合いができると良い。

・今回の設定が 14時ということで、生徒によっては部活動中なのか帰宅しているのか、いろんなケースが考えられるので、設問内容はじっくり検討する必要があるように感じる。

・共通理解、ルールがあれば訓練を共同開催する必要はないのかもしれない。基本的なルールを確化し、状況によっては異なる場合もあるとすることで、各家庭でも被災時のルール確認など意識付けできるのでは？

→茅ヶ崎市では毎年、近隣校と同日で小中連携避難訓練を行っている。保護者は中学生から引き取り、一緒に歩いて小学校へ引き取りに行く。それが当たり前になっている。

・『当たり前』になっていることがすごい。『当たり前』になっていれば、発災した時に慌てることなく保護者は動き、児童も待つことができる。 昨年の藤ヶ岡中との会議でも、藤中が安全な場所だから、わざわざ藤中から帰すのか？という話があった。

・教育委員会のマニュアルも各学校の状況に即しているのか？ 国や県の防災マニュアルはネット上で確認できるが、それが藤沢市版になっているのか？

→国や県に従い、南海トラフを震源とする大規模地震を想定した対応を含めたマニュアルに改定されている。

	・高谷子どもの家の場合、みらい創造財団のマニュアルでは地域指定の避難場所（公園）に避難となっているが、子どもの家の裏側が災害指定地域であり、子どもの家の耐震も大丈夫なので、子どもの家にとどまることが安全と認めてもらっている。 ・中学校と情報共有、基本的なルールの確認などを行い、避難訓練の同日開催の可否など話を進めていくとよいのでは。 **＊4（3）その他** 【委員より】 ・今年度の不登校児童の状況や児童の様子を教えてほしい。 →今年度の様子について説明 ・プールの監視から、子どもたちと地域の大人の顔が少し繋がったので、朝の登校時間に地域の大人が関わることが、何かのきっかけになったりするのではないか？ →大きなアクションには難しいかもしれないが、今回のプール監視は良いきっかけになった。おはボラさんやパトロール隊の方を朝礼で紹介し、子どもたちと顔合わせできたのはとても良かったと思う。顔が繋がったことで何かできるのではないかと期待はある。 **【校内参観して終了】**

次回開催日時　2025年8月21日（木）10時～
場 所　藤沢市立大鋸小学校 3階 図書館